

SSRI

Give me a break !

ちょっと一言

「防衛費が6年連続過去最大」報道のまやかし

藤岡智和

本日、総額 97 兆 7,128 億円にのぼる平成 30 年度予算の政府原案が閣議決定され、マスコミ各社は一斉に「防衛費が6年連続過去最大の5兆1,911億円」と報じている。しかしながら防衛費は防衛省の概算要求額が5兆2,551億円であったことから、要求額から640億円削られている。しかも概算要求では Aegis Ashore について項目だけ要求していたので7億円が追加要求されたことから、実質的な要求からの削減額は647億円になる。

防衛費の5兆1,911億円は、報じられているとおり29年度の5兆1,251億円から1.29%増えているが、29年度予算2,345億円の補正が計上されると報じられていることから補正後は5兆3,596億円で、30年度は1,685億円以上の補正を行わないと、最終的には実質的な予算削減になってしまう。

更に伸び率1.29%と言うのは、北朝鮮や中国からの緊迫した安全保障環境下にある我が国にとって本当に妥当な値なのであろうか。因みに中国の国防費伸び率は7%、韓国は6.9%、米国は10.6%で、ロシアから脅威が高まってきた欧州の NATO 加盟国の軍事費は2016年に3.8%上昇している。

このような状況からすると、予算案から見る限り政府は国の安全保障にどこまで本気なのか疑わざるを得ないし、相も変わらずいたずらに防衛費拡大を吹聴するマスコミの姿勢に嫌悪感を禁じ得ない。(2017年12月22日)